

2005年7月 例会レジュメ

7 - 1 神部 美夫 (情報部門) プロジェクトを成功に導く人材育成の計画と実践

KANBE Yoshio Planning and Implementing for Human Resources Training for Successful Projects

人材育成はシステム・インテグレータ会社にとって、投資比率が高く、効果的な投資である。成功するプロジェクトを実現するために、教育部署の使命の原点からスタートした。三つの大きなテーマがある。それは、社員のコンピテンシー(高い業績に対する効果を上げることのできる、能力、行動)を卓越したものにす。教育講座受講後のコンピテンシーの評価を測定するためのメトリックス(評価尺度)を定義する。教育の投資効果(ROI)を測定する。

Human Resources are the most effective and major share of Investment for System Integrate Companies. To achieve the successful projects we started from origin of our mission. There are three most important themes. Those are to develop the excellent competency of employees, to define the metrics to measure the changes of competency after taking programs, also to measure return on investment (ROI).

7 - 2 関矢 英士 (機械部門) 我が国の地熱発電の実力は？

SEKIYA Hideshi Geothermal power plants ability in Japan

世界の地熱発電設備容量は約 8,300MW であるが、日本は 550MW であり、1995 年に 500MW を超えた後、開発の気運も低下している。しかし、世界の 8,300MW の内の約 2/3 は日本製地熱タービンであり、世界から技術力の高さを評価されている。世界の活火山の 1/10 が我が国にあると言われる地熱大国で地熱発電が進まない理由は主として次のような点にある。

有望地点のほとんどが国立公園内にある。 温泉業者が開発を好まない。地質構造が複雑である。 環境条件が甘くない。

商業化されている地熱発電は地熱蒸気を使うものだが、地熱の更なる活用としては、地熱水を低沸点媒体に熱交換して媒体タービンを駆動するバイナリー発電や、蒸気・熱水を同時に作動媒体とするトータルフロー原動機、地下の高

温岩体から熱を抽出する手段等が考えられる。

これらの技術の開発は、石油危機の後発足したN E D O等が中心となり、一時期はかなり精力的な国家研究項目となったが、未だ実用化の段階には到っていない。

The global total capacity of geothermal power plants is 8,300MW. Japanese turbine maker's share is about 2/3. However, for the following reasons, there are only 550MW plants in Japan.

1. Favorable sites are mostly in national parks.
2. Hot spring resorts hate construction of power plants.
3. Geological structure is complex.
4. R&D of new technology is not so fast.